

万田坑を世界遺産に

～世界遺産を目指す
「九州・山口の近代化産業遺産群」
の取り組み～

■これまでの取り組み

平成19年12月、「九州・山口の近代化産業遺産群」について、関係自治体から文化庁へ、世界遺産の提案書が提出されました。文化庁で行われた文化審議会での厳しい審査の結果、平成20年9月26日に、国内暫定一覧表に記載されました。「九州・山口の近代化産業遺産群」は平成21年1月5日、ユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載されています（これを

専門委員会が度重なる現地調査や専門家委員会を開催し、資産の構成および普遍的価値について議論を重ねてきました。

このような調査と協議の経過を踏まえて、平成21年10月22日、東京で開催された「世界遺産シンポジウム」で「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会の専門家委員会から提言書が協議会提出されました。

九州・山口の近代化産業遺産群として世界遺産に登録する

産の中で、最も優れた炭鉱景観を残していると専門家委員会から高い評価を受けています。三池炭鉱の資産で、これまで万田坑、宮原坑の施設が記載されてきましたが、今回の提言書で、三池専用鉄道跡と三池港の新たな資産が追加記載されました。

九州・山口の近代化産業遺産群として世界遺産に登録する

三池炭鉱（万田坑跡）は日本の炭鉱施設で石炭の採掘跡（坑口）、選炭、運搬システムまでの各施設が良好に残り、これらを含む一貫した炭鉱景観が高く評価されたものです。

三池炭鉱（万田坑跡）は日本の炭鉱施設で石炭の採掘跡（坑口）、選炭、運搬システムまでの各施設が良好に残り、これらを含む一貫した炭鉱景観が高く評価されたものです。

三池炭鉱に関連し、石炭の輸出入であった明治三大築港の一つである三角西港（宇城市）も三池炭鉱の資産に含まれています。

■今後に向けての取り組み

これから各資産について、文化庁と協議を重ねていきます。

世界遺産へ登録されるためには、顕著で普遍的価値の証明や万全の保護措置の設定など条件が整ったものか

ら、日本政府がユネスコ世界遺産センターに推薦書を提出し、国際記念物遺跡会議の専門機関の調査や審査を受け、ユネスコ世界遺産委員会が登録の可否を決定します。

本資産にも高いハードルが待ち受けていますが、これを超えるために、本市をはじめ各関連自治体と市民の皆さんとが手を携え、世界遺産登録に向けて取り組んでいかなければなりません。今後、市民の皆さんの世界遺産登録への支援をお願いします。ともに世界遺産登録を目指しましょう。

■世界遺産シンポジウム
このような世界遺産への取り組みの状況を市民の皆さんに知っていただくために、平成22年2月21日（日）に文化センターで「世界遺産シンポジウムin荒尾」（仮称）を開催します。ぜひご来場頂き、三池炭鉱（万田坑）の価値を改めて考えてみましょう。（世界遺産シンポジウムin荒尾）についての詳細は

■今回の提言書で選定された資産

資産名	概要	場所
萩反射炉 恵美須ヶ鼻造船所跡 (新) 萩城下町 (新) 大板山たたら製鉄所跡	萩の工業化初期の時代の関連資産と徳川時代の文化背景	山口県萩市
旧集成館 旧集成館機械工場 旧鹿兒島紡績所技師館	集成館の先駆的工場群	鹿児島市
(新) 三重津海軍所跡	佐賀	佐賀市
(新) 橋野高炉及び関連施設	橋野炭山と製鉄遺跡	岩手県釜石市
(新) 向島第三ドック (新) 木型工場（資料館） (新) ハンマーヘッド型起重機 (新) 占勝閣 小菅修船場跡 高島炭鉱 端島炭鉱 旧グラバー住宅	三菱長崎造船所施設、炭坑の島、その他関連資産	長崎市
前田砲台跡 (新) 六連島灯台	下関砲台跡と条約灯台	山口県下関市
宮原坑 万田坑 (新) 三池炭鉱専用鉄道跡 (新) 三池港 (新) 三角西港	三池炭鉱、鉄道、港湾	福岡県大牟田市 熊本県荒尾市、宇城市
(新) 旧事務所 (新) 旧修繕工場 (新) 旧鍛冶工場 (新) 遠賀川水源地ポンプ室	八幡製鐵所	福岡県北九州市、中間市

※（新）は専門家委員会から提案された新たな資産候補
※岩手県釜石市の橋野高炉及び関連施設は、日本が本格的な鉄生産を開始する官営八幡製鐵所の製鉄技術に大きな影響を与えたため、今回新たな資産に組み入れられた。

る手法（シリアル・ノミネーション）を日本で初めて取り込み、世界遺産登録を目指しています。

日本は幕末（1850年）から明治後期（1910年）にかけて、西洋技術と交流し、急激な工業化を生み出しました。日本の近代重工業の基礎を築いた鉄鋼、造船、鉄鋼などの九州・山口

の関連産業資産群は日本の経済大国としての基礎を極めて短期間で成し遂げました。この日本の工業化は世界的にも特筆すべき事項であり、本資産はその過程を示すものとして世界遺産登録基準の顕著で普遍的価値を持つものであるという評価を得ています。

この炭鉱関係の資産に三池炭鉱も含まれています。三池炭鉱は長崎の高島炭鉱から技術移転がなされ、西洋技術を取り入れた炭鉱で、現在残っている日本の炭鉱資

改めてお知らせします

■万田坑周辺の環境整備
市では国重要文化財指定の第二堅坑櫓と巻揚機室（機械室）について、国の補助を受け、平成19年度から保存修理事業を始め、平成21年度に事業を終了する予定です。また、今年度、市民の皆さんが万田坑に気軽に集えるように、広場、池、駐車場の周辺整備工事を行う予定です。

これらの工事が終了後、平成22年4月から一般公開を行う予定です。万田坑に気軽にいらしていただき、先人が残した炭鉱遺産の魅力を感じてください。

また、一般公開の詳細については、改めてお知らせしていきます。

「問」社会教育課

☎63・1681



大牟田市教育委員会提供



(左) 巻揚機室 (中央) 万田坑堅坑櫓 (右) 倉庫およびポンプ室



万田坑事務所